



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月8日

上場会社名 朝日印刷株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3951 URL https://www.asahi-pp.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 濱 尚
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 広田 敏幸 TEL 076-421-1177
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

百万円未満切捨て

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	29,951	1.7	1,605	34.4	1,909	26.5	1,297	25.7
2020年3月期第3四半期	29,456	3.2	1,194	△17.5	1,509	△15.4	1,032	△6.6

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,454百万円 (13.1%) 2020年3月期第3四半期 1,285百万円 (144.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	58.46	—
2020年3月期第3四半期	46.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	63,524	31,234	48.5	1,388.84
2020年3月期	61,816	30,243	48.3	1,344.29

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 30,824百万円 2020年3月期 29,831百万円

(注) 2021年3月期第1四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2020年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	10.00	—	11.00	21.00
2021年3月期	—	10.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	9.00	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,200	△3.1	1,650	△10.2	2,030	△6.6	1,350	△9.3	60.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	23,284,929株	2020年3月期	23,284,929株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,090,572株	2020年3月期	1,093,720株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	22,193,083株	2020年3月期3Q	22,316,088株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(企業結合等関係)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、依然として新型コロナウイルス感染症により社会・経済活動が停滞し、また世界経済も大きな影響を受ける結果となりました。景気の先行きも当面、不透明で厳しい状況が続くと見込まれます。

このような中、当社グループの日本国内での活動は、新型コロナウイルス感染症対策本部を中心に、営業部門の出張の禁止や在宅勤務などにより営業活動を制限していた緊急事態宣言下と比べ、緊急事態宣言解除後は、営業部門においてはコロナ禍でのお客様への対応を模索しつつ活動を行い、生産部門では、従業員の安全・健康に必要な対策を実施した上で生産を継続し、お客様への安定供給に努めてまいりました。なお、海外拠点であるマレーシアにおいては、現地政府による活動制限令により一時的に営業活動を停止しておりましたが、その後制限が緩和され、国内外とも厳重な感染予防対策を実施した上で事業活動を継続しております。

(経営成績)

当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、前第3四半期連結累計期間に比べ4億95百万円増（前年同期比1.7%増）の299億51百万円となりました。

利益面につきましては、包装システム販売事業の商品仕入の増加や印刷包材事業の増産体制構築による減価償却費等、製造原価の増加により、売上原価は増加しましたが、販売管理費は新型コロナウイルス感染症に伴う活動自粛の影響により減少し、当第3四半期連結累計期間における営業利益は16億5百万円（前年同期比34.4%増）、経常利益は19億9百万円（前年同期比26.5%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億97百万円（前年同期比25.7%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

印刷包材事業

当社グループの主たる事業である印刷包材事業におきましては、市場での企業間競争が一段と厳しさを増しておりますが、当社グループは市場ニーズに即した付加価値の高い製品の提供に努め、お客様・地域に密着した提案型営業活動を展開するとともに、高水準の品質保証体制を追求し、安定した製品の供給に努めてまいりました。

売上高は、医薬品向け市場におきましては、医療用向け製品は堅調に推移し、前年実績を上回りましたが、OTC向け製品及び化粧品向け市場におきましては、新型コロナウイルス感染症による外出自粛、マスク装着・手洗い・消毒等の予防徹底、訪日外国人旅行者の急減によるインバウンド需要の減少等の一般消費者向け製品の需要減により、前年実績を下回りました。

当第3四半期連結累計期間における印刷包材事業の売上高は、前第3四半期連結累計期間に比べ2億71百万円減（前年同期比1.0%減）の269億46百万円となりました。

セグメント利益は、前第3四半期連結累計期間に比べ1億73百万円増（前年同期比2.9%増）の62億45百万円となりました。

包装システム販売事業

当セグメントでは、印刷包材と連携したトータル提案による、時流や得意先ニーズにマッチした新たな「包装」の開発を主眼とした包装機械や包装ラインの企画提案・仕入・販売を行っております。

当第3四半期連結累計期間における包装システム販売事業の売上高は、省人化・省力化のニーズの高まりもあり、前第3四半期連結累計期間に比べ8億11百万円増（前年同期比41.1%増）の27億84百万円となりました。

セグメント利益は、前第3四半期連結累計期間に比べ93百万円増（前年同期比33.8%増）の3億68百万円となりました。

その他

人材派遣事業

その他の事業では、当社グループ内のみならず地域企業からの求人を受けて人材の派遣を行っております。

当第3四半期連結累計期間における人材派遣事業の売上高は、新型コロナウイルス感染症に伴う、求人・派遣数の減少により、前第3四半期連結累計期間に比べ44百万円減（前年同期比16.9%減）の2億20百万円となりました。

セグメント利益は、前第3四半期連結累計期間に比べ4百万円減（前年同期比7.4%減）の50百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、635億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億7百万円増加いたしました。

その内、流動資産は、244億46百万円と、前連結会計年度末に比べ80百万円増加いたしました。その主な要因は、商品及び製品の増加によるものであります。また固定資産は、390億78百万円と、前連結会計年度末に比べ16億26百万円増加いたしました。その主な要因は、機械装置及び運搬具の増加によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、322億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億16百万円増加いたしました。

その内、流動負債は、125億81百万円と、前連結会計年度末に比べ5億65百万円減少いたしました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少によるものであります。また固定負債は、197億8百万円と、前連結会計年度末に比べ12億82百万円増加いたしました。その主な要因は、長期借入金の増加によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は312億34百万円と、前連結会計年度末に比べ9億90百万円増加いたしました。

この結果、当連結会計年度末の自己資本比率は、48.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2020年11月9日の「通期連結業績予想の修正および期末配当予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,274,180	6,221,630
受取手形及び売掛金	14,970,952	14,401,929
商品及び製品	999,749	1,305,548
仕掛品	1,006,064	908,348
原材料及び貯蔵品	628,128	756,031
その他	502,707	860,634
貸倒引当金	△16,497	△8,078
流動資産合計	24,365,285	24,446,044
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,309,676	12,183,495
機械装置及び運搬具(純額)	4,024,934	5,958,161
土地	7,773,020	9,058,307
リース資産(純額)	3,812,698	3,454,223
建設仮勘定	1,217,860	123,320
その他(純額)	735,039	805,566
有形固定資産合計	29,873,228	31,583,074
無形固定資産		
のれん	399,467	355,811
その他	780,505	648,823
無形固定資産合計	1,179,973	1,004,635
投資その他の資産		
投資有価証券	5,317,211	5,494,837
長期貸付金	5,187	64,227
繰延税金資産	214,120	162,657
投資不動産(純額)	437,849	414,881
その他	431,406	428,339
貸倒引当金	△7,287	△74,431
投資その他の資産合計	6,398,487	6,490,511
固定資産合計	37,451,689	39,078,221
資産合計	61,816,975	63,524,266

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,147,780	6,571,553
短期借入金	159,200	109,814
1年内返済予定の長期借入金	731,000	472,664
リース債務	514,522	768,332
未払金	2,594,360	3,214,760
未払法人税等	396,647	170,014
賞与引当金	595,317	399,379
その他	1,008,200	875,033
流動負債合計	13,147,029	12,581,553
固定負債		
長期借入金	12,631,000	14,473,170
リース債務	3,383,550	2,740,299
繰延税金負債	348,089	451,093
役員退職慰労引当金	551,013	516,683
役員株式給付引当金	20,115	21,247
退職給付に係る負債	1,357,769	1,416,333
債務保証損失引当金	12,420	12,420
関係会社事業損失引当金	67,152	—
その他	55,028	77,277
固定負債合計	18,426,138	19,708,525
負債合計	31,573,167	32,290,078
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,228,753	2,228,753
資本剰余金	2,390,361	2,390,361
利益剰余金	24,748,722	25,579,446
自己株式	△1,110,565	△1,106,387
株主資本合計	28,257,272	29,092,174
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,641,803	1,803,855
為替換算調整勘定	2,420	△16,224
退職給付に係る調整累計額	△69,988	△55,432
その他の包括利益累計額合計	1,574,234	1,732,198
非支配株主持分	412,300	409,814
純資産合計	30,243,807	31,234,187
負債純資産合計	61,816,975	63,524,266

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	29,456,575	29,951,652
売上原価	23,054,916	23,287,578
売上総利益	6,401,658	6,664,073
販売費及び一般管理費	5,207,010	5,058,775
営業利益	1,194,648	1,605,297
営業外収益		
受取利息	2,033	1,043
受取配当金	105,716	88,103
受取賃貸料	81,230	108,123
作業くず売却益	140,029	121,532
雑収入	138,748	133,364
営業外収益合計	467,758	452,167
営業外費用		
支払利息	71,741	67,980
支払手数料	1,000	1,000
賃貸収入原価	43,462	56,318
雑損失	36,607	22,726
営業外費用合計	152,811	148,025
経常利益	1,509,595	1,909,438
特別利益		
固定資産売却益	8,133	14,240
投資有価証券売却益	193,899	28,228
その他	60	—
特別利益合計	202,093	42,469
特別損失		
固定資産除売却損	9,142	101,060
投資有価証券売却損	60,862	5,678
投資有価証券評価損	27,220	2,141
ゴルフ会員権評価損	8,450	—
その他	4,675	13,904
特別損失合計	110,350	122,784
税金等調整前四半期純利益	1,601,338	1,829,123
法人税、住民税及び事業税	499,660	484,595
法人税等調整額	51,899	41,906
法人税等合計	551,560	526,501
四半期純利益	1,049,777	1,302,621
非支配株主に帰属する四半期純利益	17,711	5,290
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,032,066	1,297,331

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,049,777	1,302,621
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	234,413	161,742
為替換算調整勘定	△12,582	△24,678
退職給付に係る調整額	14,280	14,556
その他の包括利益合計	236,111	151,620
四半期包括利益	1,285,889	1,454,242
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,271,745	1,455,295
非支配株主に係る四半期包括利益	14,143	△1,053

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

(企業結合に係る暫定的な会計処理の確定及び比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し)

2019年12月23日付(みなし取得日 2019年9月30日)に行われたHarleigh (Malaysia) Sdn. Bhd. 及びShin-Nippon Industries Sdn. Bhd. との企業結合について前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、第1四半期連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されております。

この結果、暫定的に算定されたのれんの金額440,434千円は、会計処理の確定により43,970千円減少し、396,464千円となっております。のれんの減少は、無形固定資産のその他が89,010千円、固定負債の繰延税金負債が21,362千円、非支配株主持分が23,676千円それぞれ増加したことによるものです。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2021年1月18日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議し、自己株式の取得を以下のとおり実施いたしました。

(1) 自己株式取得の理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能とするため。

(2) 自己株式の取得に関する取締役会決議内容

- | | |
|-------------|--|
| ①取得対象株式の種類 | : 普通株式 |
| ②取得する株式の総数 | : 290,000株 (上限) |
| ③株式の取得価額の総額 | : 277,240,000円 (上限) |
| ④取得日 | : 2021年1月19日 |
| ⑤取得方法 | : 東京証券取引所の自己株式立会外買付取引 (ToSTNeT-3) による買付け |

(3) 自己株式の取得結果

- | | |
|-------------|--|
| ①取得対象株式の種類 | : 普通株式 |
| ②取得した株式の総数 | : 261,100株 |
| ③株式の取得価額の総額 | : 249,611,600円 |
| ④取得日 | : 2021年1月19日 |
| ⑤取得方法 | : 東京証券取引所の自己株式立会外買付取引 (ToSTNeT-3) による買付け |